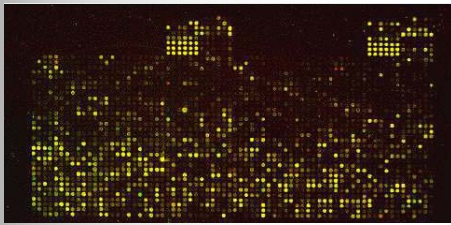


環境化学物質のトキシコゲノミクス研究開発

三重大学医学部
三重大学生物資源学部
三重大学SVBL

田中利男 教授
田丸 浩 助教授
秋山真一 博士研究員

医薬品を含む環境化学物質の安全性測定をするために、ゼブラフィッシュなどのモデル動物を活用し、ゲノムテクノロジーやゲノム情報を基盤としたトキシコゲノミクスに関する研究開発を行っている。



DNAマイクロアレイ

ゼブラフィッシュ胚の初期発生過程における遺伝子発現プロファイルを基にして、環境化学物質による発生・分化プログラムへの作用をDNAチップテクノロジーで解析し、毒性遺伝子クラスターを明らかにする。

さらに、ヒト培養細胞の機能や遺伝子発現プロファイルに対する化学物質の作用との比較ゲノミクスによる代替性（外挿性）を確立する。



ゼブラフィッシュ (Danio reio) の成魚 (左) と初期発生過程 (右)



三環系抗うつ薬の影響：未処理 (左)、処理 (右)



三重大学社会連携研究センター

Tel: 059-231-9763

Fax: 059-231-9743

E-mail: liaison@mie-u.ac.jp

<http://www.crc.mie-u.ac.jp>

(住所同じ) 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577三重大学内

(株) 三重ティーエルオー

Tel: 059-231-9822

Fax: 059-231-9829

E-mail: mie-tlo@zvtv.ne.jp

<http://www.mie-tlo.co.jp>

